



あさり

～夢と自信と地域への思いを育む学校を目指して～

- 進んでかかわり 共に高め合う子
- 自ら学ぶ子
- 思いやる子
- たくましい子

小樽市立朝里小学校
令和5年度
学校便り

第2号
2023.5.2 発行

目的と目標を共有して

校長 岡田 貴幸

地域や社会をよくするために 何かしたいと思いますか？

こう聞かれて、子どもは、どう応えるだろう。
朝里小学校の6年生は、90%が「**そう思う**」と応えます。先日の学力学習状況調査と一緒に
行った、学習や生活に関するアンケート項目で
す。昨年度の6年生（現中1）も、70%が「**そう思う**」と
応えています。一方、この問いに対して「**そう思う**」と
応える**全国の小学6年生の割合は51%**で、朝里の子の
ほうが段違いでその割合が高い。

朝里のまちづくりの会・小樽商工会議所の
方々と連携した教育活動、少年を守る会の皆様の
見守り活動、ぐりとぐらの皆さんの読み聞かせ等々、
子どもを中心に、**学校と地域が目的・目標を共有**
し、取組を続けてきました。きっとそれが、子ども
たちの「**地域や社会をよくするために**」という気持ち
につながっていると思います。地域の人と地域のこ
とについて学ぶ楽しさ・地域の人に見守られる温か
さや安心感が、**子どもたちが地域を身近にそして大切
に思う**きっかけとなっていると感じます。

個人懇談の中で、R5年度グランドデザイン
をお配りしています。目指す子どもの姿、学校・
家庭・地域がそれぞれの役割を踏まえてどのよ
うに協働するのか、それをお伝えしています。
子どもを中心に、学校・家庭・地域が目的・目標を共有
し、協働することで子どもたちの健やかな成長を
支えていきましょう。

ひとみ キラキラ

自分事として考え、

R5年度重点目標

進んで行動する朝里の子の育成

スポーツフェスティバル から運動会へ

コロナ禍の数年間、運動会を「スポーツフェスティバル」と称して、平日に実施してきました。学年毎に時間を分けたり、短時間で
行える内容を考えたりするなど、子ども達の頑張りを観ていただけるように工夫してきました。実施後は、『学年毎なので短時間だが観覧しやすかった』『子ども達を近くで応援できた』『平日ではなく、土曜開催だと』『一日も早く、運動会を』等、たくさんの感想をいただきました。

新型コロナウイルス感染症が5月8日をもって5類へ移行することを踏まえ、今年度は「運動会」に名称を戻し、6月3日土曜日に午前開催で実施します。学年毎ではなく、一斉に行うので、他の学年の種目も観ていただくことが可能となります。詳しくは、運動会に関する
お便りで紹介いたしますが、運動会の流れは「ラジオ体操」「応援アピール」「徒競走」「各学年による団体種目」「低・高学年による選抜リレー」となります。

場所取りも過去のように行いますので、こちらもPTAの方からの文書でお伝えします。

最近の子どもは、全力で頑張ることを恥ずかしがったり嫌がったりする傾向があると言われます。運動会を通して、「全力で頑張る気持ちよさ」「仲間と力を合わせて頑張ることの楽しさ」等、たくさん感じてくれるよう指導していきます。

近藤工業さんのご協力をいただき、雪解け後のグランドが整備されました。お陰できれいにラインを引くことができました。地域と家庭、学校が連携することで子ども達の学びが充実することを実感しました。

